しみんコラム

春の訪れとともに、八代の美しい自然に目を向けてみては…。
今月の市民コラムは、「春」にちなんだお便りです。

美しかった臥龍梅

小野律子さん（永碇町）

久しぶりの暖かい風に誘われて、梅の花が咲いていないか外出してみた。梅の名所はどこかなと考えてみた。八代では梅林はないが、松井神社の臥龍梅が有名である。個人の庭では、美しい梅の花がそこここに咲いている。しかし、臥龍梅は他の梅より少し遅く咲く。

どうだろう咲いているだろうか、と少し心配しながら出かけた。着いてみると満開とはいかないが、七、八分咲きである。たしか何年か前に台風で枝が折れたと聞いていたが、二本は美しく咲いていた。一本は花もちらほらだったので、きっとこの木が台風でやられたのだろう。

私の子どものころは、白梅と紅梅だったように記憶しているが、違ったかな？

臥龍梅の側に赤っぽい花が満開だった。先月、那覇で見た緋寒桜によく似ているが、近づいてよく見ると、やはり梅の花だった。

「梅は咲いたか～、桜はまだかいな～」と口をついて出てきた。夫と顔を見合わせて、「我々も年だね」と笑った。

境内では、三、四人の女性が遺跡を掘っていた。

「何ですか？」と尋ねてみたら「松井家のお茶室の場所を調べているのです」との返事だった。

あと半月もすると桜が満開になるだろう。美しく咲いている臥龍梅も訪れる人もなく、静かなことである。せっかくこんないい場所があるのに、訪れる人がいないのは残念なことである。博物館から少し足を延ばせば見られる。

市立図書館の横に大きめの桜の木がある。私はこの桜が八代で一番美しい桜ではないかと思っている。

ご存じない方は、今年はぜひ一度見てほしい。梅・桃・桜、今から楽しみである。自動車だけ使用していると、美しい自然の移ろいを見逃しがちだ。たまには車を降り、自然の風を身体いっぱいに感じ、太陽の光を浴びて八代の街を散策するのも良いものだ。

嫌な事件の多い今、たまには美しいものを見て、心の洗濯をお勧めしたい。八代の街も捨てたものではありませんよ。

《市民コラム募集》

感動した出来事や心温まる話、市民に勇気や元気を与えるような話など、広報やつしろに掲載するコラムを募集しています。

対　象　市内に在住や勤務または、八代市出身の人

要　項　文章は千二百字程度にまとめてください。記事に関連する写真やイラストなどを添付されても結構です。また、ペンネームを使用することもできます。

申込・問合せ　企画調整課広報広聴室　34101　32665

市長通信

『日奈久港と上天草間の客船就航を』

市民の皆さんのお手元にこの広報紙が届くころ、荒天でなければ、私は日奈久港と上天草間の海上タクシー（旅客船）の試乗会（三月二十九日）を終えていることかと思います。

これは、客船就航を目指して「NPO法人まちづくり健康の郷、日奈久温泉観光協会、上天草市観光協会」の有志の方々が一緒になって、民間主導により計画されたものです。

八代の蛇籠港・日奈久港とは、古くから観光・通学・通院・買い物など天草と八代は、船によって生活圏が一つに結ばれていました。

昭和三十年ごろには、天草姫戸町と八代市の市町村合併の話題があったほどです。

昨年からイオン、本年夏にはイズミと、相次いで大型店が出店し、本市の商圏が大きく変わろうとしています。

現在、天草松島と八代内港間には、フェリーが就航していますが、九州新幹線、肥薩おれんじ鉄道、そして高速自動車道の交通網を生かし、県南・南九州の観光ルートの開発や日奈久温泉の観光振興を図るためには、八代と天草間の客船航路の充実・強化が何よりも重要であると考えます。

そのためには、上天草から日奈久港への客船就航が一日も早くかなえられればと思います。

中島隆利

「人口と世帯」は14ページに掲載しています。

編集と発行　〒866－8601
八代市役所企画財政部企画調整課広報広聴室　33－4101
印　刷　（資）緒方印刷所